12-25

大

11.54

5-15

數級 8-27 11-26 田港 (登10-50 10-00

希六九八門化光話卍

炫爽

岩學

ol)

屯浦首年終養性非な一件

外金額ナカゴ

Ø11

文必

学儿

金额的

校開窓で手鞭担がタウサモ低が四州島域内のダモ湾州公立警邏

金纳城

同窓會創立總會

平可の申請者のリアでよのは(釜山) 時代 別益を忍む強烈が放生可決可立許 時二 使用がい 単起版を償却がり相當が 発生 中市街地区がよび、東京の大学のでは、東京の大学のでは、東京の大学のでは、東京の

金七星 尹性 中央

權鍾 人三 察赴後同七時發列車呈京城专向中 司 內有也後午後二時頃司期曾部五內 一時年到 別會部五內

対協議会も関係する世界二十谷

李院長의慈善

端川少年台、青年會耶蘇教合薛仁麒氏や咸南端川郡で到着の時代を成南端川郡で到着の

個團 紅甲後接 - 早當地天道教堂 = 天道教會 朝鮮日報就端川支局五 ひらやこう、とはい

一歩が昨去十三日當地の到着いゆを一年苦熟者不願が五山を越の中海を生の星組織も瞻南學友會の巡劇關ケーの観測を利用ない任京城瞻南県の 孫章祖崧拾圓

9

王

料ら

結晶

Ô

宣为各

梢化

・
助

・
は

又全包

0

食慾号増引

卫

悪疫是豫防

6

卫

元氣
是
旺

刑하

卫

心身き爽

快州宫

演藝大食者開催赴中方可用去十五日下午 의後援ニュ屯 137 24 緊張州か

長湍

5寸(光陽)

F.

|川多大も窓川 | 単八

心心永同心七一般文化程度生出日

生七特別司就職者周旋者二里本郡 育役母用捐維持州司马本所马卒業 郡守七各川有忠孝巡巡勘諭司中教

濟講演音樂大

4:

塲時

所日

黃州邑長老教會堂

始操・水泳其他の中の中(仁)

入場料

鎹錢

充分り幼稚図の無い中見産数 道内《清州》次位司七面要地引 株九月四日半日開州ゼロモヨー 日 登起主教師男女二人を精聯れ 思がせい共発半日耶蘇敦長老敦 日雄な十一般人士七国常遺憾の 4 孫思介、 漢語、皆記被合計金快出 漢篇。皆記於章計金快出、議事部長 郎守七各川有志書、明長方宗玉、副團長金先柱、總務趙 遇限习青年寺乡数 *各部「三人式を定せ(密陽)

南監理仁川地

含長本郡守邊時購

原 漢文及間音是李公 算術教師池

朝東黃黃黃 黃

合青

現る不忍目見の可申な流失家屋の沈北家屋の

本面清城鎮を鳴線江沖水豆因む

日日天女州

,礼社教成

★三八月愁香心を稱頌不已かりする二里被害側々勿論りる一般人可憐が住境の五米一石を給與か

鲜語数師李胤恭

0

大盛况

開歡迎會

忠州同窓會吞十九圈

地方食者開催する一般教育破蹊策七仁川内里教育の村來九月五日の 用監理教仁川地方六十餘教會代表

協議三有計引斗5斗(仁川) 以其他主要事項于研究協議替付可

의篤

4.三官民間有力者が多數参加を模

立總會 午二時 = 佛教少年勝削立総會 = ||湯邑佛教布敦堂 = コモ去十五日|

全南修養團講習開催

飛識習育を本道長城郡北下面梁水報も中白羊瀑布雅見を際から納涼志諸氏と母組織を修養期を無為歴 芯諸氏 星母組織 马修養 胸 辛烷為 學 全羅南道 廳 主催 星本道各郡官民有

日星三十日 宗香り演説の石がロロモ日

闘刃爲ヨヰ臨時呈僧侶士餘名寺族 前て嵩地で赴任かゆ及久赴歳月候の中白羊寺ではそ東省の便利を|平南中和郡守邊時鵬以そ距今八 第志

山税闘や支著二個所出張所士五個技句識多釜山4開催せ険定せ日釜署出張所長會調及水産製品像資所 所の兄水産製品検合所を七

朝鮮水産共進台開食期中『管内支釜山税四『オヤ今秋経山『開催号 即 朝鮮日報密陽 密 陽 留 學 生 親密陽邑長老教會密陽

一"一"三。四。五等外入脚、自、由

曾

全密 陽懸賞 男 女雄辯大 會

金徳順一圓 (忠州)

並獨如各二関

日所

稅關文署長會議

黃春水 具變書各三國 趙敬喜趙千龍五圓 忠州侍天教會四咫

八月二十五日下午九時密陽郡西門內禮拜堂

ハラリ馬のより尾島 外俗養會を機是招待が見られ(仁川) 六州日間を同會員の外健康を増進十一名を八日午後八時の料事京川満鐡内職員會の村之來二十五世練智艦隊齊膝可令官以下約2年の一月月16日 (作者)を

修養曾

練智艦將校歡迎會

科学の優秀の関係を表 문이 아직 試用み 기심닛 0 夕에 いせら 心叶

方質御丹仁

桐 德 容雅 廿 鐵 用 廿 錢 召 廿 包 包

三 国 国 包 包 包 包

後의災水司潔不

はら善る語もの

由な(俚諺)

ħ.

+